

平成25年7月3日

各日本語教育機関設置代表者 殿

財団法人日本語教育振興協会

理事長 佐藤 次郎

平成25年度日本語学校教育研究大会プレセッション
「日本語教育 e-learning 展示会」開催について(通知)

当協会では、平成元年度から日本語教育機関に勤務する日本語教員等に対して教室活動における具体的な指導法及び実践的な展開能力について研究協議を行い、日本語教員の資質向上に資するため、「日本語学校教育研究大会」を開催しております。本年度は、開催に先立ち、プレセッションとして「日本語教育 e-learning 展示会」を下記のとおり実施することといたしましたので、御案内申し上げます。

なお、本大会（8月6日、7日）の開催については、7月初旬に御案内する予定です。

記

1. 趣旨

日本語教育機関の教職員の教員能力の育成と伸張を目的として実施する。
本研修は、e-learning の教学の活用について学ぶことを目的とする。

2. 日時

平成25年8月5日（月）9：30～16：00

3. 実施会場

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室
住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3467-7201 fax 03-3467-7797

4. 参加対象

財団法人日本語教育振興協会の維持会員機関に勤務する教職員その他関心のある者

5. プログラム

9：30 開場

出展者がブース形式で並びます。参加者は自由にブースを回って情報収集、意見交換をしていただけます。

10：00 各出展者によるプレゼンテーション（別紙 出展者・出展内容リスト参照）

15：40 プレゼンテーション終了

16：00 展示終了

7. 参加費等

参加費、事前申込みは必要ありません。当日、直接会場までお越しください。

〔問い合わせ先〕総務部 小野寺陽子・上戸

TEL：03-5304-7815 FAX：03-5304-7813 E-mail: y-onodera@nisshinkyu.org

出展者・出展内容リスト

No. 1～7 日本語デジタル教育推進協議会

No	出展者	出展内容
1	窪田一郎（リンクワールドジャパン(株)）	日本に留学する学生を主な対象とした、オンライン日本語スクール“JLink College”を紹介。オンライン向け教材と、Moodleを活用した学習サポート機能により、自宅での効率的な学習が可能となる。
2	篠崎大司（別府大学）	日本語能力試験N1合格のためのeラーニング学習システム。文法・聴解各約1000問の問題数と解説動画。授業の中でご利用いただくことで、教師の授業負担の軽減と均質かつ徹底した学習環境の提供が両立可能。
3	角南北斗	Web学習リファレンス。学習項目の検索や関連情報の参照、利用者好みのリストの作成、クイズ機能など、紙媒体では難しいことも実現可能に。スマホ対応だから、教科書との併用や隙間時間の学習支援にも最適。
4	難波康治（大阪大学）	Perfect Master Kanji N5-N2 非漢字圏学習者(N5-N2)を主な対象としたiPhone, iPad用アプリ。手書き入力認識、オフライン音声読み上げ機能付。紙の教科書と併用して学習する教育システムにより学習効果を高めることが可能。
5	藤本かおる・武田聡子（特定非営利活動法人日本語教育研究所）	ビジネス文書スキルアップコース。 ビジネスシーンを想定した学習効果の高いトピックで実践力養成。 添削指導には、自ら間違いに気づき正しく直す力をつける工夫あり。 担任・メンター制による学習サポートも充実。
6	尹鎬淑（サイバー韓国外国語大学校）	日本語の基本文字学習と発音練習。語彙・文法・句型学習を通じた簡単な読解・作文・聴解・会話可能。QRコードからPDF形式の講義ノートへアクセス。スマホなどを使った最先端スマートラーニングシステムにも対応。
7	李在鎬・今井新悟（筑波大学留学生センター）	筑波大学留学生センターは文部科学省の共同利用拠点制度に基づき、「日本語・日本事情遠隔教育拠点（～H27年3月）」として認定され、自立学習を支援する「筑波日本語eラーニング」を共同利用コンテンツとして提供する。

No. 8 日本語教育機関

8	江副隆秀（新宿日本語学校）	紙に印刷された音声情報(STコード)をなぞるだけで、声や音を聞くことができるサウンドリーダー。一度読み込んだ音声は、操作ボタンを押すだけで繰り返し聞くことができるので、進み具合にあわせた利用が可能。紙から音が聞こえる楽しい世界を紹介します。
---	---------------	--

No. 9 業者によるデモンストレーション

9	株式会社ブイキューブ	インターネット上で映像・音声・資料の双方向のやり取りを「いつでも・どこでも、だれでも」簡単に実現できるV-CUBEのビジュアルコミュニケーションサービスを、遠隔授業の活用事例も交えてご紹介いたします。
---	------------	--